【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公開番号】特開2003-280874(P2003-280874A)
【公開日】平成15年10月2日(2003.10.2)
【出願番号】特願2002-81253(P2002-81253)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　3/12
　Ｂ４１Ｊ　5/30
　Ｇ０６Ｔ　5/00
　Ｈ０４Ｎ　1/387
　Ｈ０４Ｎ　1/407
　Ｈ０４Ｎ　1/46
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　3/12　　Ｌ
　Ｂ４１Ｊ　5/30　　Ｚ
　Ｇ０６Ｔ　5/00　１００
　Ｈ０４Ｎ　1/387
　Ｈ０４Ｎ　1/46　　Ｃ
　Ｈ０４Ｎ　1/40　１０１Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月4日(2003.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
マークアップ言語で記述された文書データを入力する入力手段と、
前記文書データを解析して、背景データ及び文字データを抽出する解析手段と、
背景色と文字色とが近似しないように、前記背景データ又は前記文字データの少なくとも一方の色を変換する変換手段と、
　前記変換手段で色変換された画像の記録を行なう記録手段と、
　を含むことを特徴とする記録装置。
【請求項２】
前記変換手段は、
前記解析手段によって抽出された背景データを第１濃度の第１画像データに変換する第１変換手段と、
前記解析手段によって抽出された文字データを前記第１濃度よりも高い第２濃度の第２画像データに変換する第２変換手段と、
を含み、
前記記録手段は、
前記第１画像データと前記第２画像データに基づいて画像の記録を行なうことを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項３】
前記第１画像データは、白色単色画像の画像データであることを特徴とする請求項２に記載の記録装置。

【請求項４】
前記第２画像データは、黒色単色画像の画像データであることを特徴とする請求項２または３に記載の記録装置。
【請求項５】
ウェブサーバから、前記文書データを受信する受信手段を更に有することを特徴とする請求項１乃至４のいずれかに記載の記録装置。
【請求項６】
前記記録手段によりカラー画像を記録するカラーモードか、モノクロ画像を記録するモノクロモードかを判定する判定手段を更に有し、
該判定手段でモノクロモードと判定された場合には、前記第１変換手段及び第２変換手段は、自動的にデータ変換を行ない、前記記録手段は、前記第１画像データと前記第２画像データに基づいて画像の記録を行ない、
前記判定手段でカラーモードと判定された場合には、前記記録手段は、前記背景データと前記文字データに基づいて画像の記録を行なうことを特徴とする請求項２乃至５のいずれかに記載の記録装置。
【請求項７】
前記判定手段は、前記記録手段に装着される記録剤収納手段の種類に応じてカラーモードかモノクロモードかを判定することを特徴とする請求項６に記載の記録装置。
【請求項８】
前記記録手段を前記カラーモードまたは前記モノクロモードに設定する設定手段を更に有し、
前記判定手段は、該設定手段の設定内容に応じて、カラーモードかモノクロモードかを判定することを特徴とする請求項６に記載の記録装置。
【請求項９】
画像をカラー表示する表示手段を更に有することを特徴とする請求項１乃至８のいずれかに記載の記録装置。
【請求項１０】
マークアップ言語で記述された文書データを入力する入力工程と、
前記文書データを解析し、背景データを抽出する第１抽出工程と、
前記文書データを解析し、文字データを抽出する第２抽出工程と、
前記第１抽出工程によって抽出された背景データを第１濃度の第１画像データに変換する第１変換工程と、
前記第２抽出工程で抽出された文字データを前記第１濃度よりも高い第２濃度の第２画像データに変換する第２変換工程と、
前記第１画像データと前記第２画像データに基づいて画像の記録を行なう記録工程と、
を含むことを特徴とする記録方法。
【請求項１１】
コンピュータに、
マークアップ言語で記述された文書データを入力する入力工程と、
前記文書データを解析し、背景データを抽出する第１抽出工程と、
前記文書データを解析し、文字データを抽出する第２抽出工程と、
前記第１抽出工程によって抽出された背景データを第１濃度の第１画像データに変換する第１変換工程と、
前記第２抽出工程で抽出された文字データを前記第１濃度よりも高い第２濃度の第２画像データに変換する第２変換工程と、
を実行させることを特徴とするプログラム。
【請求項１２】
コンピュータに、
マークアップ言語で記述された文書データを入力する入力工程と、
前記文書データを解析し、背景データを抽出する第１抽出工程と、

前記文書データを解析し、文字データを抽出する第２抽出工程と、
前記第１抽出工程によって抽出された背景データを第１濃度の第１画像データに変換する第１変換工程と、
前記第２抽出工程で抽出された文字データを前記第１濃度よりも高い第２濃度の第２画像データに変換する第２変換工程と、
を実行させるプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するため、本発明に係る装置は、
マークアップ言語で記述された文書データを入力する入力手段と、
前記文書データを解析して、背景データ及び文字データを抽出する解析手段と、
背景色と文字色とが近似しないように、前記背景データ又は前記文字データの少なくとも一方の色を変換する変換手段と、
前記変換手段で色変換された画像の記録を行なう記録手段と、
を含むことを特徴とする。
前記変換手段は、
前記解析手段によって抽出された背景データを第１濃度の第１画像データに変換する第１変換手段と、
前記解析手段によって抽出された文字データを前記第１濃度よりも高い第２濃度の第２画像データに変換する第２変換手段と、
を含み、
前記記録手段は、
前記第１画像データと前記第２画像データに基づいて画像の記録を行なうことを特徴とする。